

# 「（高層マンションに自然の安らぎを創造する。芽が出て廃棄寸前のさつまいもを捨てないで天空の森に育て、粘土で森に暮らす鳥家族を作った。）」

落合秀一（6歳） 落合明莉（4歳）

No318 川崎市 [カテゴリー] 1動物 [観察場所] 窓台のプランター

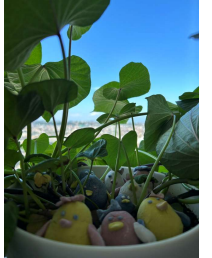
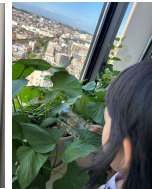
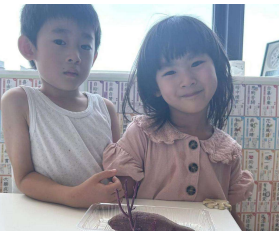
[感想]（我が家は高層集合住宅に住むため、外の明るさ、雨の音、樹木の緑といった外界による刺激が乏しい感じがします。今回コンテストに参加することをきっかけに、子供でも取り組めるSDGs、身近な例を思い付き親子で取り組んでみました。

ある日、子供は台所の片隅に芽が出て、食べられないさつまいもを見つけました。世界で貧困や飢餓が発生している一方で、先進国では食品が大量に廃棄されている現実があり、SDGsの目標12「つくる責任つかう責任」では食糧に関する具体的なターゲットが設定されています。普段の生活で、家庭から無駄なゴミを出さないようにするために、食糧はできるだけ使い切りましょうと考えて、このさつまいもを栽培してみてもまた秋になったら芋狩りすることを計画しました。食べ物を捨てないで再利用することもSDGs達成への貢献につながると考えました。

水耕栽培から土植えへ、さつまいもの葉っぱが茂ってきたので、大きなプランターに移しました。その後、子供二人で協力して粘土で合計10羽の鳥の家族を作成しながら鳥達みんなの名前をつけながら、プランターに置き、高層マンションに普段あまり感じられない可愛い鳥達が暮らす緑の空間が出来上がりました。

SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」（自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失の阻止）に貢献できるように取り組んでいます。粘土で鳥を作りながら子供たちに生態系の上位にいる野鳥の保護は、生物多様性の保全につながる重要な課題であることと鳥を慈しむ感情を大切にしつつ野生生物との正しい接し方を教えました。）

[その他コメント]（子どもたちの自然とSDGsに関する興味を引き出すコンテンツを提供してくださって、どうもありがとうございました。）



1. 食べ残した、台所の片隅で芽を出したサツマイモを捨てないで、水耕栽培からはじめ、土植えへと移行させ、空の森と森に暮らす鳥達を作るコンセプトを一緒に考えました。

2. さつまいもの葉っぱが茂ってきたので、大きなプランターに移しました。

3. 粘土を袋から出して、森の中に住む鳥の家族をつくるコンセプトを考えました。

4. 二人で協力して合計10羽の鳥の家族を細工しながら鳥達みんなの名前をつけました。とても楽しい雰囲気の中で、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」（自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失の阻止）の話をしました。

5. 窓台に置いてみました。

6. 茎が伸びてきたさつまいもの葉の森（プランター）に、10羽の鳥家族を置きました。

7. 芽が出たさつまいもをゴミ箱に捨てないで良かった。土と水と太陽の力はとても不思議、1本のさつまいもから鳥家族が幸せに暮らせる天空の森ができた、明莉ちゃんが喜びを語りました。

8. 鳥たちに挨拶をしながら、毎日回かに分けて水をかけました。

9. 天空の森と鳥家族の空間作りが完成。秋のさつまいもの収穫を楽しみにしています。明莉ちゃんは粘土も土になって、その後新しいさつまいもになって、食べれるのは面白いですねと言いました。